

# RateMux C6920 からIP アドレスを取得して変更する方法

## 目次

[概要](#)

[はじめに](#)

[表記法](#)

[前提条件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[RateMux に接続する方法](#)

[ハイパーターミナルを使用する接続手順](#)

[connect.exe プログラムを使用する接続手順](#)

[RateMux からIP アドレスを検索する方法](#)

[RateMux のパワーPCカードのIP アドレスを変更する方法](#)

[関連情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、Cisco 6920 RateMux の IP アドレスを取得または変更する方法について説明します。

注: この文書に記載されている情報は RateMux 基づいた on Cisco バージョン 2.5 です。RateMux 6920 の説明に関しては、[データシートCisco 6920 RateMUX Advanced MPEG-2 マルチプレクサ](#)を参照して下さい。

注: Cisco RateMux バージョン 2.3 の後で、6920 は 10.0.0.200 の固定IPアドレスが付いています。これは Cisco ルータの初期設定を容易にすることです。より古いバージョンを実行する場合 [RateMux から IP アドレスを取得する方法](#)を、この資料に記述されています。

## [はじめに](#)

### [表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

### [前提条件](#)

このドキュメントの読者は次の項目に関する知識が必要です。

- デジタル プログラミング
- サテライト レシーバ

- エンコーダ
- MPEG-2 転送する
- 直交振幅変調 ( QAM )
- Digital Headend Interface ( DHEI )
- デジタル ビデオ ブロードキャスト非同期 シリアルインターフェイス ( DVB-ASI ) 規格
- 選択的なビットレート リダクション

## 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- PowerPC カードが付いている Cisco RateMux 6920
- ソフトウェア connect.exe および/またはハイパーターミナルは PC でロードしました
- イーサネット クロスケーブル 1 本

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

## RateMux に接続する方法

PowerPC カードに 1 つのイーサネットポートおよび 1 デバッグ ポートがあります。RateMux にアクセスするのにこれら二つのポートを使用できます。次の図 1 を参照してください。

図 1 : Cisco RateMux 6920 デジタル ビデオの PowerPC カード

次の 2 つのセクションは [ハイパーターミナル](#) および [connect.exe プログラム](#) 両方を使用して RateMux に接続する方法を記述します。

### ハイパーターミナルを使用する接続手順

ハイパーターミナルを使用して RateMux に接続するために下記に提供される手順に従って下さい :

1. PowerPC カードのデバッグ ポートから PC のシリアルポートにシリアルケーブル RS232 を接続して下さい。注: 終端 ポートは使用されません。図 2 : ハイパーターミナルを使用する接続トポロジー
2. 次の設定との COM1 のハイパーターミナルセッションを開始して下さい:ビット/秒 = 57600データビット = 8パリティ = **どれも**ストップ・ビット = 1フロー制御 : なし図 3 ハイパーターミナル 設定のピクチャを示します。図 3 : RateMux に接続するべきハイパーターミナル 設定
3. RateMux Power **OFF** を回して下さい。
4. **ハイパーターミナル**を起動させて下さい。
5. HyperTerminal メニュー棒から 『Call』 を選択して下さい。
6. RateMux の電源。
7. RateMux をつけることの 10 秒以内に、HyperTerminal Call メニューから 『Connect』 を選択して下さい。
8. HyperTerminal 画面の Open ウィンドウのマウスカーソルをクリックして下さい。

9. 接続までの毎秒が確立されるまたはスペースバーおよそ『Enter』をクリックして下さい。最初の数行は Cisco 6920 によって使用されるブート・ローダリビジョン番号および IP およびイーサネットの MAC アドレスを示します。下記に図 4 参照して下さい。図 4：RateMux のパワーサイクルを行った後ハイパーターミナルで表示する

## connect.exe プログラムを使用する接続手順

もう一つの方法アクセスは connect.exe プログラムの起動によって RateMux 行います。Cisco はデスクトップか PC にこのプログラムのショートカットを置くことを推奨します。Connect.exe はイーサネットで PC からの RateMux への接続を確立します。これはネットワーク接続がクロスオーバーイーサネットケーブルを使用して堪能である場合もあります。下記に図 5 参照して下さい。

図 5：イーサネットポートおよび connect.exe プログラムを使用した接続

注: クロス ケーブルがない場合、よくあるハブに接続される 2 つのストレート ケーブルを使用できます。

クロス ケーブルかハブを使用しながら:

- PC および RateMux の IP アドレスが同じサブネットにあることを確かめて下さい。
- PC で定義される正しいゲートウェイを持つために確かめて下さい。

これを達成するために PC の TCP/IP プロパティを変更できます。

物理的に接続される、通信を確立するのに次のステップを使用して下さい。

1. RateMux OFF に動力を与えて下さい。
2. アイコンをダブルクリックから **connect.exe プログラム**を開始して下さい。
3. 『Connection』をクリックして下さい。
4. 接続メニューの下で『Connect』をクリックし、RateMux の IP アドレスを入力し、『OK』をクリックして下さい。
5. RateMux の電源。
6. Open ウィンドウのカーソルをクリックし、接続が確立されるまで入力がスペースバーを見つけて下さい。接続が確立された後図 6 connect.exe ウィンドウを示します。図 6：RateMux への接続が確立された後 Connect.exe ウィンドウ

## RateMux から IP アドレスを検索する方法

通常、ユニークな IP アドレスは RateMux にある PowerPC モジュールに割り当てられます。与えられる IP アドレスはネットワーク 10.0.0.0 にあります。Web ブラウザは Cisco 6920 と専ら通信するのにこの事前割り当て IP アドレスを使用します。この IP アドレスは Cisco 6920 のラベルで印刷されます。

注: バージョン 2.3 およびそれ以降に関しては、RateMux は 10.0.0.200 のデフォルト IP アドレスが付いています。

時々 Cisco 6920 に IP アドレス ラベルがありません。IP アドレスを判別するために下記のようにプロシージャに従って下さい:

1. RateMux に接続するために[ハイパーターミナルプロシージャ](#)のステップに従って下さい。
2. 接続が確立されれば、IP アドレスは出力第 2 行で現われます。 [図 4](#) 示されている例では IP アドレスは 10.0.0.178 です。

## [RateMux のパワーPCカードのIP アドレスを変更する方法](#)

ほとんどの場合 RateMux にリモートアクセスことはできることは好ましいです。ただし、あらかじめ定義されたアドレスはネットワーク体系でないかもしれません。IP アドレスは 255.0.0.0 およびゲートウェイ 10.0.0.1 のマスクの 10.0.0.0 ネットワークで通常現れます。255.255.255.0 のマスクおよび 10.0.0.6 のゲートウェイをまたよくあります持っていることは。

この場合、PowerPC カードの IP アドレスを変更することは好ましいです。これはハイパーターミナルが connect.exe によってすることが出来ます。ただし、ハイパーターミナルを使用することは推奨しますあります。connect.exe を使用した場合、RateMux として同じサブネットにあるために最初に PC の TCP/IP 設定を行わなければならないことに注意して下さい。この IP アドレスを変更した場合、接続を得るために PC の TCP/IP 設定をもう一度行う必要があります。

1. [ハイパーターミナルプロシージャ](#)を使用して RateMux に接続して下さい。
2. 接続を確立してもらえばメニューがによってものに類似したに [図 4](#) 表示されます。メニューから 3 つのオプションの次のシーケンスを選択して下さい: 『C:』 を選択して下さい **環境パラメータ**および**フラッシュパーティション**。B を選択して下さい: **環境設定**。B を選択して下さい: **環境パラメータを変更して下さい**。
3. この後で、複数の異なるパラメータを入力するためにプロンプト表示されます。ただ次のいずれかを変更する必要があります:ゲートウェイネットマスクIPADDR他のパラメータに関しては、押された ENTER。この例で変更します:172.22.86.1 へのゲートウェイ 255.255.254.0 へのネットマスク172.22.87.6 への IP-ADDR
4. 型 S: 設定を保存する FLASH への保存**環境パラメータ**。
5. A を入力して下さい: RateMux の設定を表示するのに使用される現在のコンフィギュレーションを表示するために**環境パラメータ**をリストして下さい。

## [関連情報](#)

- [Field Notice : ハングする Cisco 6920 RateMux PowerPC カード](#)
- [リリース 2.7 の Cisco 6920 RateMux マルチプレクサに関するリリース ノート](#)
- [データシートCisco 6920 RateMUX Advanced MPEG-2 マルチプレクサ](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)